



英国ヴィクトリア朝期の文学文化における 他者（異文化）の表象についての研究

人間文化学部 国際文化学科
教授 吉本和弘（よしもと かずひろ）



連絡先 県立広島大学 宇品キャンパス 1824号室
Tel 082-251-5178 (代表) Fax 082-251-9405 (代表)
E-mail yosimoto@pu-hiroshima.ac.jp
※ @は半角に置き換えてください
URL <http://www.pu-hiroshima.ac.jp>

専門分野： イギリス文学文化研究
英語教育学研究
キーワード： イギリス文学と他者表象
ヴィクトリア朝期の写真
イギリス児童文学
ポストコロニアリズム
英語教育と演劇

● 主な取り組み・活動

大英帝国の植民地を舞台とする冒険物語の系譜のうち、ヴィクトリア朝期に書かれた小説や児童文学を中心に提起し、他者の表象や異文化との接触に関する描写、他言語の扱われ方や英語教育の問題等について、ポストコロニアリズムの視点から研究しています。またイギリス児童文学作品の特異性について研究しています。これらの研究によって、英語という言葉、あるいは英文学作品が世界の文化に与えてきた影響についての問題点を解明し、現代世界における英語使用の意味や問題点を明らかにしたいと考えています。

また、ヴィクトリア朝期に発明された新しい視覚メディアとしての写真術が文学や文化に与えた影響に関して、他者の表象という観点から、特に女性労働者階級の表象を中心に研究しています。

一方で、英語教育に演劇を取り入れるという方法を実践し、その効果や意義について研究しています。英国では非常に重視されている演劇という活動を語学学習に取り入れる事で演劇文化に関する知識を得ることは、英国文化を知る上でも役に立つと考えています。そして同時に、演技としての外国語でのコミュニケーションという視点を学習者に持たせる事により、より総合的で包括的な国際コミュニケーション能力の養成に資するものと考えています。

● 今後の目標・抱負

急激に進行しつつある世界における英語使用の拡大と、イギリス文化が他の文化に与え続けている影響がどのような意味を持つのかという事を考察しつつ、日本における英文学教育や英語教育のあるべき姿や、言語帝国主義や文化帝国主義の問題について提言が出来ればと考えています。

また、語学教育と演劇教育の融合、そしてコミュニケーションと演劇というテーマについて自分なりの方法論を構築してゆきたいと考えています。

● 地域・社会と連携して進めたい内容

英文学と植民地主義や帝国主義との関係に関しての講演をするなどの活動を通して、英語学習の本当の意義について、地域社会の人々とともに考えてみたいと思います。

また、英語劇の上演や、指導を通じて、語学学習における演劇活動を広めてゆきたいと考えています。

● これまでの連携事例・実績

ヴィクトリア朝期の児童文学作品の作者や作品についての講演（ルイス・キャロルの『不思議の国のアリス』やJ. M. バリーの『ピーター・パン』に関して）を実施しました。